

オルガンによる教会音楽の夕べ

シモン・ボレノ Simon Bollenot オルガン演奏会 Concert

会場 札幌北一条教会 札幌市中央区北1条西13丁目(教育文化会館北側) 電話 011-221-4455

2019.6.20 (木) *Thu* 開場 午後6時
開演 午後6時30分

前売 市民交流プラザ2階チケットセンター/教文プレイガイド/北一条教会/ 賛助金 1,000円
道新プレイガイド

曲目 Program

All Bach!
オール
バッハ
プログラム

J.S. バッハ

- ▶ トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565
- ▶ 「いと高きところにいます神にのみ栄光あれ」
BWV662
- ▶ トッカータとフーガ ニ短調 (ドリア調) BWV 538
- ▶ 「シンフォニア」(カンタータ第29番より) BWV 29
- ▶ 「バビロンの流れのほとりに」 BWV 653
- ▶ トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV 564
- ▶ 「おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け」 BWV 622
- ▶ トッカータとフーガ ヘ長調 BWV 540



Profile プロフィール

シモン・ボレノ

1992年、フランス生まれ。
ストラスブール音楽院で
オルガンや通奏低音、即
興演奏などをフランシ
ス・ジャコブ、フィリップ・

ルフェーヴル、ダニエル・モレールらに学んだ後、オーストリアの
ブルックナー私立音楽大学上級課程コースに留学。リヨン国立高等
音楽院では、フランソワ・エスピナス、リーズベット・シュルンベル
ジェらに師事。2017年、フランスの現代作曲家ジャン＝ルイ・フロ
レンツに関する卒業論文で、ソシエテ・ジェネラル社から奨学金を授与
される。これまでに、ルイ・ロビヤール、ミシェル・ブヴァール、イヴ・ラ
ファルグラフランスの著名なオルガニストたちによるマスタークラス
を受講。2018年、最優秀の成績でリヨン国立高等音楽院のオルガン
演奏の修士号を取得。在学中は、フランス各地の教会でリサイタルを
行うほか、フランス国内のオーケストラや合唱団と共演している。
2015年より、フランス・リヨンのアノンシヤシオン教会の正オルガニ
ストを務める。また、ラジオ・フランス・モンペリエ・フェスティバルの
トークイベントに参加するほか、ジャン＝ピエール・ルゲ、ジルベ
ール・アミラフランス現代作曲家との共同制作など、現代音楽の普及活
動にも積極的に取り組んでいる。2018年9月、第20代札幌コンサ
ートホール専属オルガニストに就任。

Simon Bollenot

主催 日本キリスト教会 札幌北一条教会

<http://www.geocities.jp/kita1jo/>